情報処理学会東北支部だより
第 213 号

発行責任者　牧野 正三 (支部長)
事務局　北形 元・岡 敏幸 (広報幹事)
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
東北大学電気通信研究所
Tel: 022-217-5455
Fax: 022-217-5411
email: ipsjkoho@shiratori.riec.tohoku.ac.jp

1 会告

1.1 研究会のご案内

1.1.1 平成 18 年度 研究会開催 (発表論文募集) のご案内 (記事通番 06-15)

- 日時: 2007 年 2 月 19 日 (月)
- 場所: 弘前大学理工学部 1 号館 4F 8 番講義室
  〒036-8561 弘前市文京町 3 番地 (文京地区)

  http://www.hirosaki-u.ac.jp/

- 発表申込方法：下記内容を申し込み先まで E メールにてお知らせください。
  (1) 発表題目
  (2) 著者氏名 (所属) 発表者に○ 印を付けて下さい
  (3) 情報処理学会の会員・非会員の別及び年齢
  (4) 連絡先氏名、住所、電話・FAX 番号、E メールアドレス
  (5) 発表方法 OHP、プロジェクタ
  (6) 懇親会 参加・不参加
- 申込締切：2007 年 1 月 19 日 (金)
- 申込先：〒036-8561 弘前市文京町 3 番地
  弘前大学理工学部電子情報工学科
  小野口 一則
  TEL/FAX: 0172-39-3668

E-mail: onoguchi@eit.hirosaki-u.ac.jp

- 備考：
  (1) 発表 20 分、質疑応答 10 分程度を考えております。(発表件数により若干変動する場合がありますがご容赦願います)
  (2) 発表論文 (配布資料) 40 部を当日ご持参願います。
  (3) プロジェクタは用意しますが、PC は持参願います。
  (4) 2 月 19 日 (月) 18:00 より懇親会を開催致しますので、是非ともご参加下さるようお願い申し上げます。

1.1.2 平成 18 年度 第 1 回情報処理学会東北支部研究会 開催報告 (記事通番 06-16)

- 日時: 平成 18 年 12 月 4 日 (月) 9:00 – 16:55
- 場所: 秋田大学地域共同研究センター 2 階 会議室
  〒010-8502 秋田市手形学園町 1 番 1 号
- 発表: 18 分，質疑応答: 7 分
- セッション 1 (9:00 – 10:15)　座長: 内海富博 (秋田大学)
  (1) 消費電力削減を考慮した論理回路のテスト生成に関する研究
    ○ 石黒南，玉本英夫，横山洋之 (秋田大学)
  (2) 遠隔学習における動画像を用いた指導支援システムの開発
    ○ 武藤和久，横山洋之，玉本英夫，藤原克哉 (秋田大学)
  (3) 分散型ウェブサーバにおける動的負荷分散方式の開発
    ○ 武藤雄介，横山洋之，玉本英夫，藤原克哉 (秋田大学)
- セッション 2 (10:20 – 12:00)　座長: 横山洋之 (秋田大学)
  (4) Zigbee 技術を用いた農業用低消費電力センサネットワーク構成法の検討
    ○ 軽部雄介，行松健一，橋本仁 (秋田大学)
  (5) 特定番号認識起動による PUSH 型情報配信方式の検討
    ○ 菅原悠太郎，行松健一，橋本仁 (秋田大学)
  (6) Web カメラを用いた遠隔ビジュアル計測を実現するための画像処理方法の検討
    ○ 松本千尋，行松健一，橋本仁 (秋田大学)
  (7) 木構造遺伝子を用いた遺伝的アルゴリズムによる系統樹作成に関する研究
    ○ 阿部智恵子，河上肇 (秋田大学)
- セッション 3 (13:00 – 15:10)　座長: 石沢千佳子 (秋田大学)

(8) ハフ空間に現れるカスプ点を利用した曲線の形状特徴抽出
○ 中山慎太郎，小林真人 (秋田大学)

(9) プロトコルに依存したネットワークトラフィックの解析
○ 小野仁子，五十嵐隆治，高橋秋典 (秋田大学)，岩谷幸雄 (東北大学)，坂田真人 (秋田大学)

(10) モンテカルロ法によるトラフィックのモデリングの検討
○ 福士貴子，五十嵐隆治，高橋秋典 (秋田大学)

＜休憩 5 分＞

(11) 共有分散メモリ型並列計算機における通信手法とその評価
○ 中尾哲也，廣田千明，小澤一文 (秋田県立大学)

(12) パケット量に応じた DoS 攻撃の動的検知手法に関する検討
○ 阿部香菜恵，猿田和樹，寺田裕樹，武田和時 (秋田県立大学)

- セッション 4 (15:15 – 16:55)　座長: 藤原克哉 (秋田大学)

(13) 情景画像における色情報を用いた看板内文字列領域抽出に関する検討
○ 麻生悦子，景山陽一，西田眞 (秋田大学)

(14) 口唇の局所領域における形状特徴解析とグループ化に関する基礎的検討
○ 飯岡弘司，西田眞，石沢千佳子 (秋田大学)

(15) MRI 脳画像における側頭葉領域の特徴抽出に関する検討
○ 伊藤桃代，西田眞，苗村育郎 (秋田大学)

(16) 多時期ランドサット ETM+ データを用いた鳥海山沿岸海域における地下水湧出地点の特徴解析
○ 小玉英幸，景山陽一，西田眞 (秋田大学)

- 懇談会: 17:30 より秋田大学大学会館 2 階で開催
- 研究会参加者: 76 名
- 懇談会参加者: 15 名
- 報告者: 西田眞 (秋田大学)

1.1.3　平成 18 年度　研究会開催 (発表論文募集) のご案内 (記事通番 06-17)

- 日時: 2007 年 2 月 24 日 (土) 09:00 ~ 16:30
- 場所: 東北学院大学 教養学部 (泉キャンパス)
  〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目 1-1
  (仙台市地下鉄泉中央駅から徒歩 35 分，宮城交通バス 15 分)

http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/about/genzai/campusmap.shtml

- 発表申込方法: 下記内容を申込先まで E メールにてお知らせください。
  (1) 発表題目
  (2) 著者氏名 (所属)　発表者に○ 印を付けてください
  (3) 連絡先氏名，住所，電話・FAX 番号，E メールアドレス
  (4) 懇親会への出席予定人数
- 申込締切: 2007 年 2 月 2 日 (金)
- 申込先: 〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目 1-1
  東北学院大学教養学部情報科学科
  杉浦　茂樹
  TEL/FAX: 022-773-3315
  E-mail: ipsj-tohoku-2006@cs.tohoku-gakuin.ac.jp
- 備考:
  (1) 発表時間: 発表 20 分，質疑応答 10 分の予定です (発表件数により若干変動する場合がありますがご了承ください)。
  (2) 発表方法: プロジェクタを用意します (PC はご持参ください)。
  (3) 配布資料 (発表論文) :
    (a) 指定期日 (1 週間前程度) までに電子版 (PDF ファイル) をご投稿ください (詳細については，別途連絡を差し上げます)。
    (b) 当日，40 部をご持参ください (様式につきましては，別途ご連絡を差し上げます)。
  (4) プログラムは 2 月 13 日 (火) 頃ご案内致します。
  (5) 2 月 24 日 (土) 17:30 より懇親会を開催致しますので，是非ご参加ください。

1.1.4　平成 18 年度 第 3 回情報処理学会東北支部研究会プログラムのご案内 (記事通番 06-18)

- 日時: 平成 19 年 1 月 22 日 (月) 10:00 – 17:30
- 場所: 会津大学講義棟 中講義室 M9-M10
- 発表 20 分　質疑応答 5 分
- 10:00-10:10　開会の挨拶 中講義室 M9
- セッション A-1 10:15 – 11:55　中講義室 M9
  (1) 冗長ビット可変 LDPC 符号向け Sum-Product アルゴリズムの回路化

○ 西川 智浩, 伊藤 俊之, 奥山 祐市, 黒田 研一 (会津大)

(2) 1 次元 SPH 計算回路の演算精度評価

○ 佐藤 杏奈, 奥山 祐市, 黒田 研一 (会津大) , 濱田 剛, 中里 直人, 伊吹山 秋彦 (理研)

(3) 加算増幅器を用いたファジーコントローラの CMOS 実装

○ 佐野 誠一, Vyacheslav Marakhovsky, 齋藤 寛 (会津大)

(4) Asynchronous circuits for dual-rail code transmission

○ Yasuhiko Murai, Vyacheslav Marakhovsky, Hiroshi Saito (University of Aizu)

- セッション B-1 10:15 – 11:55 中講義室 M10

(1) Web accessible GIS database of the moon

○ Jun Nitta, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)

(2) Automatic recognition algorithm for circular features and lineaments

○ Naoto Harada, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)

(3) Stereovision with a pair of fish-eye lens cameras

○ Yoshio Hamada, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)

(4) Visualization tool for 3D GIS data of irregular-shaped bodies

○ Yoshiaki Fujii, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)

- セッション A-2 M9 13:00 – 14:40 中講義室 M9

(1) 文書分類用辞書における名詞と分野の相関関係の分析

○ 野本 裕也, 西園 敏弘 (日大)

(2) 情報活用目的に応じた電子ドキュメント群からの話題抽出手法の提案

○ 千葉 さおり (福島大) , 白井 宏和 (東京学芸大) , 井口 智之 , 神長 裕明 (福島大) , 宮寺 庸造 (東京学芸大) , 中村 勝一 (福島大)

(3) カオスニューラルネットを用いた音声感情認識に関する一考察

○ 山口 穣, 金子 正人, 武内 惇, 藤本 洋 (日大)

(4) MMEPAD - Visual programming environment of new generation

○ Dmitry Vazhenin (University of Aizu)

- セッション B-2 13:00 – 14:40 中講義室 M10

(1) Development of web application system for database performance evaluation
○ Shota Kikuchi, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)

(2) Development of a remote communication tool for collaborative drawing of geologic maps
○ Manabu Kanzawa, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)

(3) Tracking and motion analysis of impact fragments
○ Naoto Miura, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)

(4) 運動による皮膚表面温度の変化についてー上腕二頭筋周辺の場合ー
雪下 哲, 横山 裕一, ○ 大表 良一, 高山 文雄 (いわき明星大)

- セッション A-3 14:50 – 16:05 中講義室 M9

(1) N および 2:N 冗長システムの信頼性解析
○ 尾崎 博一 (ＮＥＣ) , 加羅 淳 (会津大)

(2) Diffie-Hellman アルゴリズムに基づいたグループ鍵の更新方法
○ 矢作 拓也, 加羅 淳 (会津大)

(3) タグ属性情報の関連性を定義する情報基盤の提案
○ 舟窪 恵一、齋藤 規央、程 子学 (会津大)

- セッション B-3 14:50 – 16:05 中講義室 M10

(1) 高等学校における教科「情報」の実践事例
○ 高野 有史, 松井 和宏, 佐藤 晴夫 (日大)

(2) Blog を用いた世論調査に関する提案と評価
○ 霜田 雄一, 成田 祐一 (日大)

(3) 教科「情報」の実施状況調査
○ 柴田 和聖, 渡邉 景子, 中尾 剛 (いわき明星大)

- セッション A-4 16:15 – 17:30 中講義室 M9

(1) センサーネットワークを利用したユビキタス健康フロア
○ 木戸 将人, 韓 秋, 程 子学 (会津大)

(2) 児童安全教育のためのユビキタスコースウェアの開発と支援システム
○ 今里 智海, 加藤 一男, 二瓶 光, 程 子学 (会津大)

(3) 忘れ物防止ランドセルを利用した小学生の忘れ物の統計取得およびそのぶんせ

きによる支援

○ 冨樫 知洋, 荊 雷, 程 子学 (会津大)

18:00 - 懇親会　会津大学　欅

1.1.5 平成 18 年度　研究会開催 (発表論文募集) のご案内 (記事通番 06-19)

- 日時: 2007 年 3 月 9 日 (金)
- 場所: 山形大学工学部
  〒992-8510 山形県米沢市城南 4 丁目 3-16
- 発表申込方法: 下記事項を電子メールでお知らせください。
  (1) 発表題目
  (2) 著者名 (所属) (登壇者に○ 印)
  (3) 連絡先 (Email または Fax 番号)
  (4) 発表用機材 (OHP・プロジェクタ等を明記)
- 申込締切: 2007 年 2 月 21 日 (水)　午後 5 時まで
- 申込先: 〒992-8510 山形県米沢市城南 4 丁目 3-16
  山形大学工学部情報科学科
  多田十兵衛
  E-mail: jubee@yz.yamagata-u.ac.jp
  TEL: 0238-26-3576 (情報科学科　多田十兵衛　宛)
  FAX: 0238-26-3299
- 備考:
  (1) 発表原稿 (8 頁以内) は必要部数 (40 部) コピーして発表当日会場にお持ちいただければよく，原稿の書き方は申込みをされた方にのみ後日発表プログラムと共にお送り致します．
  (2) 申込みをされた方には，必ず確認のための電子メールか或いはファックスをお送り致します．
  (3) 懇親会: 研究会終了後に開催する予定です．

1.1.6 平成 18 年度第 2 回情報支部学会東北支部研究会 開催報告 (記事通番 06-20)

- 日時: 平成 19 年 1 月 12 日 (金) 9:00 − 18:00
- 場所: 岩手大学工学部一祐会館 2 階会議室
  〒020-8551 盛岡市上田 4 − 3 − 5

- 発表件数: 30 件
- 発表時間: 12 分，質疑 3 分
- セッション 1 (9：00 ~ 10：00)　座長: 今野 晃市 (岩手大学)
  (1) 可逆論理回路合成のための新しい AND-EXOR 論理式のクラス
      ○ 相場亘，平山貴司 (岩手大学)
  (2) Guache におけるアスペクト指向の実装
      ○ 江尻好治，西谷泰昭 (岩手大学)
  (3) メタデータによる Wiki ページのクラス化
      ○ 袖林高広，西谷泰昭 (岩手大学)
  (4) Shuffle 表現を用いた並列プロセス動作系列の記述
      ○ 滝沢裕章，西谷泰昭 (岩手大学)
- セッション 2 (10：10 ~ 11：10)　座長: 平山 貴司 (岩手大学)
  (5) ネットワーク処理の分散と共有
      ○ 古舘 理彦、鈴木 正幸 (岩手大学)
  (6) Web を利用した共同作業の支援
      ○ 中野 利樹, 鈴木 正幸 (岩手大学)
  (7) グレブナー基底を用いた幾何の証明と補助線
      ○ 菅井　康平, 鈴木正幸
  (8) 学内教育用 PC を用いた並列計算による電波伝搬散乱のリアルタイム可視化
      園田潤，○ 八巻宏太，古賀雅典 (仙台電波高専)
- セッション 3 (11：20 ~ 12：20)　座長: 矢島 邦昭 (仙台電波工業高等専門学校)
  (9) 両耳受聴データからの音源方向推定に関する検討
      ○ 小原富太、永田仁史、藤岡豊太、安倍正人 (岩手大学)
  (10) 低周波音を用いた地中埋設物探査に関する基礎的検討
      ○ 小野寺博晃、永田仁史、藤岡豊太、安倍正人 (岩手大学)
  (11) 移動騒音の能動制御に関する研究
      ○ 中野弘崇、藤岡豊太、永田仁史、安倍正人 (岩手大学)
  (12) コンクリートブロックの非破壊検査に関する研究　- 反射波の位置の高精度推定-
      ○ 柴田竜太、藤岡豊太、永田仁史、安倍正人 (岩手大学)
- セッション 4 (13：00 ~ 14：00)　座長: 海野　啓明 (仙台電波工業高等専門学校)
  (13) 奥行き画像からの LOD 可能なオクトリーベースポイントモデリング
      ○ 堀川　朋，藤本忠博，千葉則茂 (岩手大学)

(14) メッシュ化とZバッファレンダリングを利用した統合奥行き画像の軽量化法
○ 佐藤恒太，藤本忠博，千葉則茂 (岩手大学)

(15) 1/f ノイズとモーフィングによる効率的な炎のアニメーション
○ 柳　云善，藤本忠博，千葉則茂 (岩手大学)

(16) 組合せ最適化に基づく色覚異常者における弁別困難色の変換
○ 星野隆太 (山形大学), 目黒光彦 (日本大学), 古閑敏夫 (山形大学)

- セッション 5 (14：10 ~ 15：10)　座長: 西谷 泰昭 (岩手大学)

(17) コンクリートブロックの非破壊検査に関する研究　– 指向性による欠陥位置の推定–
○ 吉田　優、藤岡豊太、永田仁史、安倍正人 (岩手大学)

(18) 音波の伝播時間からの音速分布と流速分布の可視化に関する基礎研究
○ 三浦佑介、矢島邦昭 (仙台電波工業高等専門学校)、田山典男 (岩手大学)、岩橋政宏 (長岡技科大)

(19) 透過超音波の伝播時間と減衰情報からの内部構造の可視化に関する基礎研究
○ 畠　圭佑、矢島邦昭 (仙台電波工業高等専門学校)、田山典男 (岩手大学)

(20) マイクロホンベースの風速センサの開発と複合現実感への応用
○ 菅野　研一, 千葉　則茂 (岩手大学)

- セッション 6 (15：20 ~ 16：20)　座長: 藤本 忠博 (岩手大学)

(21) PC クラスタによるポリゴンモデル軽量化形状の評価
○ 古村辰也 , 吉田安男 , 今野晃市 (岩手大学), 徳山喜政 (東京工芸大学工学部)

(22) 坏 (つき) の実測図に基づく断面生成法
○ 阿部直樹 (岩手大学工学研究科)，千葉史 ((株) ラング)，今野晃市 (岩手大学工学研究科)，徳山喜政 (東京工芸大学工学部)

(23) コンピュータグラフィクスによる「なげいれ花」システム
○ 小原圭司、今野勇輝、矢島邦昭、海野啓明 (仙台電波高専)

(24) ４次元 CG による４次元正多胞体の表現
○ 山田翔太、安藤純一、矢島邦昭、海野啓明 (仙台電波高専)

- セッション 7 (16：30 ~ 18：00)　座長: 永田 仁史 (岩手大学)

(25) 変形輪郭モデルに基づく動画像からの任意オブジェクトの抽出
○ 松崎慧介 (山形大学)、目黒光彦 (日本大学)、古閑敏夫 (山形大学)

(26) 高校情報科向けポータルサイトの分散サーバ方式による e-Learning 機能の検討
○ 神村伸一 (東北文化学園大学)，冨塚学 (株式会社コーディアルコンサルティ

ング & ソリューションズ)，上杉茂樹，早坂昌樹，井口巌 (宮城県高等学校情報科教育研究会)

(27) 実行プログラムにおける類似度の評価
○ 劉　忠達、中谷　直司、厚井　裕司 (岩手大学)

(28) 全天周画像による移動ロボットの位置決め
○ 砂金　匠、　李　仕剛 (岩手大学)

(29) 類似セグメント高速探索法における球被覆の検討
○ 杉山雅英 (会津大学)

(30) 複数時系列中の類似セグメント高速探索法 – 3 つの時系列に対する実装と評価 –
○ 酒井章裕, 杉山雅英 (会津大学)

- 懇親会: 18：15 より中央食堂 2 F インシーズで開催
- 研究会参加者: 約 78 名
- 懇親会参加者: 約 22 名
- 報告者: 李仕剛 (岩手大学　工学部)

1.1.7　平成 18 年度第 3 回情報支部学会東北支部研究会 開催報告 (記事通番 06-21)

- 日時: 平成 19 年 1 月 22 日 (月) 10:00 – 17:30
- 場所: 会津大学講義棟 中講義室 M9-M10
  〒965-8580 会津若松市一箕町鶴賀
- 発表件数 24 件
- 発表 20 分, 質疑応答 5 分
- セッション A-1 10:15 – 11:55　中講義室 M9

(1) 冗長ビット可変 LDPC 符号向け Sum-Product アルゴリズムの回路化
○ 西川 智浩, 伊藤 俊之, 奥山 祐市, 黒田 研一 (会津大)

(2) 1 次元 SPH 計算回路の演算精度評価
○ 佐藤 杏奈, 奥山 祐市, 黒田 研一 (会津大) , 濱田 剛, 中里 直人,　伊吹山 秋彦 (理研)

(3) 加算増幅器を用いたファジーコントローラの CMOS 実装
○ 佐野 誠一, Vyacheslav Marakhovsky, 齋藤 寛 (会津大)

(4) Asynchronous circuits for dual-rail code transmission
○ Yasuhiko Murai, Vyacheslav Marakhovsky, Hiroshi Saito (University of

Aizu)

- セッション B-1 10:15 – 11:55 中講義室 M10
  (1) Web accessible GIS database of the moon
    ○ Jun Nitta, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)
  (2) Automatic recognition algorithm for circular features and lineaments
    ○ Naoto Harada, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)
  (3) Stereovision with a pair of fish-eye lens cameras
    ○ Yoshio Hamada, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)
  (4) Visualization tool for 3D GIS data of irregular-shaped bodies
    ○ Yoshiaki Fujii, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)
- セッション A-2 M9 13:00 – 14:40 中講義室 M9
  (1) 文書分類用辞書における名詞と分野の相関関係の分析
    ○ 野本 裕也, 西園 敏弘 (日大)
  (2) 情報活用目的に応じた電子ドキュメント群からの話題抽出手法の提案
    ○ 千葉 さおり (福島大), 白井 宏和 (東京学芸大), 井口 智之 , 神長 裕明 (福島大), 宮寺 庸造 (東京学芸大), 中村 勝一 (福島大)
  (3) カオスニューラルネットを用いた音声感情認識に関する一考察
    ○ 山口 穣, 金子 正人, 武内 惇, 藤本 洋 (日大)
  (4) MMEPAD - Visual programming environment of new generation
    ○ Dmitry Vazhenin (University of Aizu)
- セッション B-2 13:00 – 14:40 中講義室 M10
  (1) Development of web application system for database performance evaluation
    ○ Shota Kikuchi, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)
  (2) Development of a remote communication tool for collaborative drawing of geologic maps
    ○ Manabu Kanzawa, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)

(3) Tracking and motion analysis of impact fragments
○ Naoto Miura, Naru Hirata, Hirohide Demura, Noriaki Asada (University of Aizu)

(4) 運動による皮膚表面温度の変化についてー上腕二頭筋周辺の場合ー
雪下 哲, 横山 裕一, ○ 大表 良一, 高山 文雄 (いわき明星大)

- セッション A-3 14:50 – 16:05 中講義室 M9

(1) N および 2:N 冗長システムの信頼性解析
○ 尾崎 博一 (ＮＥＣ), 加羅 淳 (会津大)

(2) Diffie-Hellman アルゴリズムに基づいたグループ鍵の更新方法
○ 矢作 拓也, 加羅 淳 (会津大)

(3) タグ属性情報の関連性を定義する情報基盤の提案
○ 舟窪 恵一、齋藤 規央、程 子学 (会津大)

- セッション B-3 14:50 – 16:05 中講義室 M10

(1) 高等学校における教科「情報」の実践事例
○ 高野 有史, 松井 和宏, 佐藤 晴夫 (日大)

(2) Blog を用いた世論調査に関する提案と評価
○ 霜田 雄一, 成田 祐一 (日大)

(3) 教科「情報」の実施状況調査
○ 柴田 和聖, 渡邉 景子, 中尾 剛 (いわき明星大)

- セッション A-4 16:15 – 17:30 中講義室 M9

(1) センサーネットワークを利用したユビキタス健康フロア
○ 木戸 将人, 韓 秋, 程 子学 (会津大)

(2) 児童安全教育のためのユビキタスコースウェアの開発と支援システム
○ 今里 智海, 加藤 一男, 二瓶 光, 程 子学 (会津大)

(3) 忘れ物防止ランドセルを利用した小学生の忘れ物の統計取得およびそのぶんせきによる支援
○ 冨樫 知洋, 荊 雷, 程 子学 (会津大)

- 懇親会: 18:00 より会津大学 欅にて開催
- 研究会参加者: 約 80 名
- 懇親会参加者: 28 名
- 報告者: 齋藤 寛 (会津大)

1.1.8　平成 18 年度 情報処理学会東北支部研究会プログラムのご案内 (記事通番 06-22)

- 日時: 平成 19 年 2 月 19 日 (月) 10:00 – 17:10
- 場所: 弘前大学理工学部 1 号館 4 F　第 8 講義室

- 発表 20 分, 質疑応答 10 分
- セッション 1 10:00 – 12:00　8 番講義室　座長：小野口一則 (弘前大学)
  (1) マルチメディアストリーム暗号エンジンの開発と評価
    ○ 天間僚，武田宏樹，深瀬政秋，佐藤友暁 (弘前大学)
  (2) HCgorilla のメディア機能強化
    ○ 野田一訓，劉磊，武田宏樹，深瀬政秋，佐藤友暁 (弘前大学)
  (3) マルチコア化ユビキタスプロセッサの API とコンパイラの開発
    ○ 佐藤亮太，佐藤洋平，深瀬政秋，佐藤友暁 (弘前大学)
  (4) Winy 防御ハードウェアユニットの開発
    ○ 成田圭一，菊池一平，佐藤友暁，深瀬政秋 (弘前大学)
  < 休憩 60 分 >

- セッション 2 13:00 – 15:00　8 番講義室　座長：佐藤友暁 (弘前大学)
  (5) マイコン制御によるホームタンク灯油量センサーの開発
    ○ 川崎成人 , 石田 寿樹 (光城精工有限会社) 舘山大 , 成田卓夫 , 工藤洋司 (青森県工業総合研究センター)
  (6) 免疫系細胞の運動能解析プログラムの開発
    ○ 三和智行，雨森道紘 (弘前大学)
  (7) 類似パターンの出現に着目した楽曲分析
    ○ 杉山雅英 (会津大学)
  (8) SPN 構造を持つ回転行列による暗号アルゴリズム
    ○ 齋藤勇，渡辺敦，春木浩志，下斗米瞬，長瀬智行 (弘前大学)
  < 休憩 10 分 >

- セッション 3 15:10 – 17:10　8 番講義室　座長：長瀬智行 (弘前大学)
  (9) ステレオ画像列からのジェスチャー認識
    ○ 佐藤正明，小野口一則 (弘前大学)
  (10) まばたきによるコミュニケーションの試み

○ 古川勇樹，苫米地宣裕（八戸工業大学）

(11) 蟻協調行動モデルによる巡回セールスマン問題の解法の性能向上

○ 佐藤昭，高橋良英（八戸工業大学）

(12) 高精度積分法による高温超伝導薄膜内の遮蔽電流密度シミュレーション – 永久磁石法と誘導法の再現–

○ 高山彰優，神谷淳（山形大学）

- 17:40 – 懇親会 弘前大学 レストランスコーラム

1.2 研究講演会のご案内

1.2.1 第 327 回研究講演会開催報告 (記事通番 06-23)

- 日時: 平成 18 年 11 月 24 日（金）13：30 ~ 16：00
- 場所: 山形大学工学部 7 号館 203 教室

講演 1

- 演題: Concept Reconstruction for Ontology-based Semantics
- 講師: Andre Wlodarczyk (Prof. of Charles de Gaulle University(Lille 3) and Universite Paris Sorbonne (Paris 4)) Currently : Visiting Researcher at the Nation Institute for Japanese Language (Tokyo)
- 概要: If we want to reach better results in the field of semantic analysis of linguistic phenomena certain foundational concepts (notions) currently in use must be formally reconstructed. From the linguistic (more generally semiological) point of view, semantic categories (contents) must not be considered in separation from signs (units defined originally as pairs of Form and Content). However, the present approach is based on the assumption that meaning of human-made signs as such being inaccessible for inspection, the only reasonable solution for semantic research is modelling. Consequently, in the described model, (1) the sign is defined as a structure having a set of types of usages named semions (defined as pairs of Signifier and Signified) as its domain and a set of monadic infons (descriptions defined as pairs of notations and a conjunction of true formulae), (2) the structure of signs is characteristic of semiological Systems, using signs is an instantiation of semiological Processes known alto-

gether as communication, (3) the projection from Semions of a given Sign to Infons within the System is known as assignment of descriptions (attributes) to the types of usages of signs, whereas the projection from Signs to Infons within the Process is said to be signification, Ontologies are motivations (hierarchically structured foundations) of semantic properties of signs. Semantics of natural languages is most of all application domain specific. However, I claim that it is possible to build meta-ontological (universal) hierarchies of concepts motivating particular semantic solutions. It will be shown how to build ontologies in order to describe linguistic meanings using KDD algorithms integrated in "Semana" platform.

- 講演報告:講演者らが現在進めている意味表現プロジェクトの内容について、その思想、オントロジーなどの背景と、実際のインプリメントを解説した。意味をどう表現するかについて活発な質疑があった。

講演 2

- 演題: Computer-aided Acquisition of Semantic Knowledge –the Category of Aspect
- 講師: Helene Wlodarczyk(Prof. of Universite Paris Sorbonne (Paris 4)): Currently : Visiting Researcher at Waseda University (Tokyo)
- 概要: We adopted the notation of semantic feature structures (simple trees only) as a meta-language for describing Aspect in various languages regardless of linguistic levels (morphological, syntactical, lexical etc). We propose to describe the meaning of the Aspect category as a pair of feature bundles : Analysis and Control. The Analysis of a situation (viewed as a whole or as one of its moments or stages) is considered as its endocentric aspect, and the Control of a situation (viewed as a set of operations such as iteration, flow and intensity modifications, composition) is defined as its exocentric aspect because it is imposed from outside. These aspectual features occur and combine diversely depending on the semantic type of the situation to which a verb is related (due to hyperonymy/hyponymy lattice). With the possibility to use the techniques of knowledge discovery in databases (KDD) provided that the latter contain meta-linguistic information, we present our theory of the Category of Aspect as the first attempt of applying computational approximation-based methods

in order to determine the relevance and relative importance of the parameters found. Only such detailed work with databases may be supposed to allow us to offer formal, verified (i.e. experimentally tested) and comparable cross-language definitions of semantic categories. At the present stage of our research, the list of structures (in which combinations of semantic parameters of Aspect can be observed) describing the different usages of simple utterances is not exhaustive as yet. However, while testing the coherence of our descriptions, we could already improve our theory of Aspect.

- 講演報告: 講演 1 の内容をアスペクトに適用したときの実際についての解説であった。アスペクトをどう表すかについてはさまざまな議論があるが、その内容をめぐって活発な議論が行われた。
- 参加者: 12 名
- 報告者: 横山　晶一
  山形大学工学部情報科学科
  〒992-8510 米沢市城南 4-3-15
  Tel. 0238-26-3336, FAX 0238-26-3299)

1.2.2　第 328 回研究講演会開催報告 (記事通番 06-24)

- 日時: 2006 年 12 月 18 日 (月)　 15：00 – 16：30
- 場所: 秋田大学工学資源学部 5 号館 101 講義室
- 講師: 林　英輔　氏 (麗澤大学国際経済学部教授・情報システムセンター長)
- 演題: 地域情報化と大学の貢献
- 概要: わが国の国家プロジェクトであった IT 基本戦略によって進展した地域の情報化の現状を概観し，一方，この間生じた地域間の格差の課題を示し，地域における大学の役割を議論し，既存の地域貢献の事例を紹介する．
- 講演報告: 本講演では，はじめに，日本国内における通信インフラの整備状況や県域内基幹網の事例などが紹介され，各ネットワークで使用されている先進技術について解説があった．また，学校の IT 環境整備に見られる地域間格差の問題や，地域医療ネットワークに関連する医療機関の課題，医療提供制度の課題，IT 技術面の課題について解説があった．更に，課題解決のための具体例として地域医療ネットワークの普及モデル・プロトタイプが紹介され，地域連携の重要性について説明があった．

次に，地域における変化と大学に求められる役割，学生と地域との関係について説明があり，大学の地域貢献の事例として千葉県柏市の KIU の活動が紹介された．学生の活動を視野に入れた地域貢献は，大学教育および地域コミュニティーの活性化支援において有用であることが説明された．

講演終了後は，参加者から活発な質問があり意見交換を行った．とりわけ高齢化の進む本県（秋田県）では，地域医療ネットワークの話題に対し強い関心が寄せられていた．また，地域貢献への取り組み方について，林氏より丁寧なアドバイスがあり，大変有益な内容であった．

- 参加者: 約 70 名
- 報告者: 西田　眞
  秋田大学工学資源学部情報工学科
  〒010-8502　秋田市手形学園町 1-1
  Tel：018-889-2781/Fax：018-837-5771

1.2.3　第 329 回研究講演会開催案内 (記事通番 06-25)

- 日時: 2007 年 1 月 15 日 (月) 14:00 – 15:00
- 場所: 東北大学工学部電気情報系 2 号館 1 階 100 号室
- 演題: Theory and Practice of Graph Drawing: Visualisation and Analysis of Large and Complex Networks
- 講師: Dr. Seok-Hee Hong　(University of Sydney and NICTA, Australia)
- 概要: Graph Drawing is the construction of geometric representations (i.e. visualisations) of graphs in two or three dimensions.
  Recent technological advances have led to many large and complex network-models in many domains, including social networks, biological networks, web-graphs and software engineering.
  Visualisation can be an effective analysis tool for such networks. Good visualisation reveals the hidden structure of the networks and amplifies human understanding, thus leading to new insights, new findings and possible prediction of the future. However, visualisation of such large and complex networks is very challenging due to scalability and complexity.
  This talk will address these challenging issues for visualisation of large and complex networks and briefly introduce new methods and algorithms for good

visualisation of large and complex social networks and biological networks.

- 参加者: 約 70 名
- 世話人：西関隆夫 nishi@ecei.tohoku.ac.jp

1.3 その他のお知らせ

1.3.1 情報処理学会東北支部野口研究奨励賞候補者募集について (記事通番 06-26)

平成 18 年 1 月 9 日

情報処理学会東北支部会員各位

東北支部長　牧野正三

情報処理学会東北支部野口研究奨励賞候補者募集について

この度，我が国を代表する情報処理分野のパイオニアであり，東北地方の当分野の発展に多大に貢献された野口正一先生（東北支部第 7 代支部長，本会第 1 8 代会長）から寄贈された資金によりまして，優秀な学術論文を出版した東北支部会員の若手研究者に対して野口研究奨励賞を授与し，より一層の情報処理分野に関する研究開発を奨励することとなりました．　つきましては，第二回情報処理学会東北支部野口研究奨励賞候補者を以下の通りに募集いたしますので，ご一読のうえ，多くの候補者の方のご応募をいただけますようお願いいたします．

- 対象者
  (1) 本学会東北支部会員（正会員または学生会員，手続き中のものを含む）であるとします．
  (2) 過去 3 年程度以内において，情報処理分野に関連する学術雑誌に掲載された論文の主要な著者であるとします．ただし，第一著者であるかどうかは問いません．
  (3) 応募時において 3 5 歳以下の若手研究者であるとします．
  (4) 受賞者以外の共著者は表彰の対象としません．
- 応募方法
  (1) 応募者は，推薦文（あるいは自薦文）とともに，下に添付する応募用紙を次の宛先に電子メールにて送付して下さい．　東北支部庶務幹事代理　伊藤彰則

（東北大学大学院工学研究科）
tm-ipsj@rd.isc.tohoku.ac.jp

なお，対象論文の送付方法については，個別に別途ご連絡します．

(2) 推薦文（自薦文）のフォーマットは任意とします．

(3) 対象論文の他に参考となる論文がある場合，2 編以内を添付することができるとします．

- 応募期間

  平成 18 年 1 月 9 日（火）~ 平成 18 年 2 月 16 日（金）(必着）とします．

- 選考方法

  (1) 支部長が役員から任命する「野口研究奨励賞選考委員会」を設置し，支部長が委員長となり，受賞者の選考を行います．

  (2) 選考委員長の報告に基づき支部役員会で決定します．

  (3) 受賞者は，原則として毎年度につき 1 名とします．

- 表彰について

  受賞者には，賞状，賞牌および賞金を支部総会において授与します．賞金は，1 名につき３０，０００円とします．

- その他

  受賞者の情報（氏名，所属，掲載論文タイトル等）は，東北支部メーリングリストやウェブページ等で公開されます．

- 照会先

  情報処理学会東北支部庶務幹事代理
  伊藤彰則（東北大学大学院工学研究科）
  tm-ipsj@rd.isc.tohoku.ac.jp

――――――――< 応募用紙：ここから >――――――――

==========

【第二回情報処理学会東北支部野口研究奨励賞応募用紙】

==========

[候補者]

氏名：

生年月日：

会員番号 / 種別：

所属 / 役職：
住所：
電話：
電子メールアドレス：

[掲載論文]
タイトル：
著者名：
掲載論文誌名：
巻号・ページ・出版年月等：

[その他]
推薦者名 (or 自薦):

==========
以上を記入し，推薦文（あるいは自薦文）とともに，下記までお送り下さい．論文の送付方法については，個別に別途ご連絡します．
tm-ipsj@rd.isc.tohoku.ac.jp(東北支部庶務幹事代理・伊藤彰則)
==========

2　東北支部カレンダー

デジタル支部だより発行予定
214 号 (2007 年 3 月末日発行予定)